



児童英語指導者
養成プログラム



白百合女子大学

児童英語指導者養成プログラム

子どもとともに学ぶ

児童英語の入門講座や言語習得理論などの授業を通じて子どもの発達について学ぶだけでなく、実際に公立・私立の小学校の現場で授業参観をし、さらに実際に自分たちで組み立てた授業プランで小学生に英語を教えます。

一生続けられる仕事として

人生の中では、時として仕事を中断したり、進路を変更したりすることもあります。英語を子どもに教えるという仕事は、スクールやホームティーチャー、さらには小学校の外国語活動の支援者として、自分のペースで長く続けていけるものになることでしょう。

英語とより深く関わる

子どもに英語を教える過程で英語の仕組みや働きについて学んだことは、自分の英語習得にも役立ちます。また、人にわかりやすく英語を使うことで、英語の運用能力も格段に上がっていきます。



こんな人のためのプログラム

このプログラムは児童英語指導者の養成を旨とし2013年度よりスタート。必要な授業群をとることにより児童英語指導者としての力を身につけます。修了後のキャリア・プランとしては児童英語教室の講師、小学校の英語科活動や支援者、児童英語教材のデザイナー等、幅広い分野での活動が期待されます。目的に応じたコース・オプションを選択して受講ができます。

児童英語指導者養成プログラム

2つのコース	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 基礎コース ▶ 実践コース 	P5
2つのオプション	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 児童英語オプション ▶ 小学校英語オプション 	P7 P8

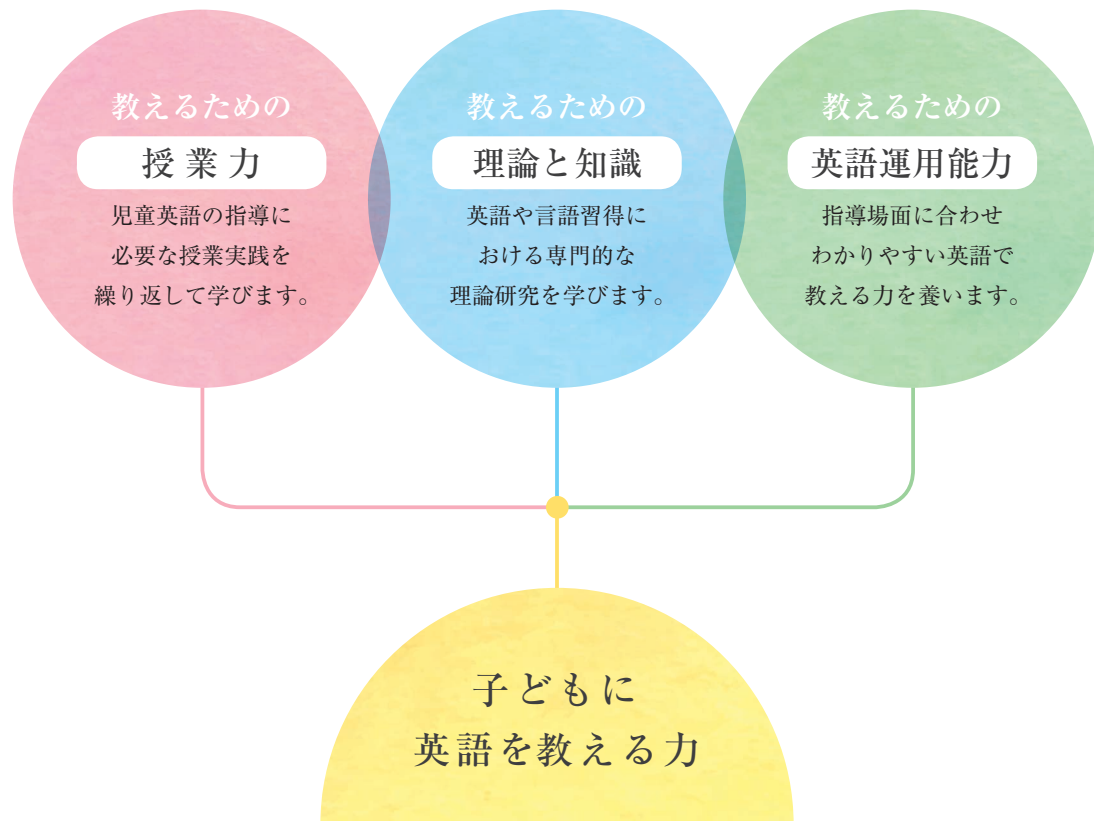
(主に英語英文学科学生 対象)
(小学校教諭免許取得予定者 対象)



カリキュラムの特徴

子どもに英語を教えるためには、英語に関する知識や技能はもちろんのこと、子どもの思考や行動、そして発達についてきちんとした理解をしなければなりません。また、知識ばかりでなく、指導者として現場で子どもたちの興味を育てていけるだけの実践力も必要とされます。

このため「児童英語指導者養成プログラム」では、英語学、指導理論、学習理論を学んだ上で、現場で実際に授業を実践していきます。その中で、はじめて子どもに教える力が身についていくのだと考えています。



具現化する講座（授業）の特徴

教えるための

理論と知識

を身につける講座

この領域では、まず「児童英語入門」や「児童英語教材研究」で、子どもたちへの外国語教育の基本的な考え方を学びます。ゲーム、絵本、歌、チャンツなどといった活動の基本的レパートリーを習得し、子どもたちとの英語の授業を楽しく豊かなものにしましょう。さらに、教育法や言語学などの授業を通じて、子どもの言語習得や認知発達などの理論にも触れます。

教えるための

授業力

を身につける講座

実習科目として「観察実習」と「ワークショップ」があります。まず「観察実習」で公立と私立の小学校を訪問し、実際の英語の授業を参観します。それに続く「ワークショップ」では、大学で準備しリハーサルを行った授業プランに沿って、複数の公立小学校で3・4年生の外国語活動の授業を実践します。このように単なるシミュレーションではなく、本物の授業を行うことで子どもを教える確かな授業力を培っていきます。

教えるための

英語運用能力

を身につける講座

「子どもに教えるための英語Ⅰ」では、教室英語の練習および絵本やチャンツを素材とした発音演習など、子どもたちへの指導場面で使う実践的な英語運用能力の向上のサポートをします。さらに「子どもに教えるための英語Ⅱ」を通じて、場面に応じたわかりやすい英語で授業を行う方法を身につけます。

目的に応じて選択できる2つのコースと2つのオプション

【実習体験時間に応じた2つのコース】

本プログラムには、基礎コース(J-SHINE 準資格に対応)と実践コース(J-SHINE 正資格に対応)の2つのコースがあります。各コースの履修および修了に必要な要件は以下の通りです。

1 基礎コース

オプション	児童英語オプション	小学校英語オプション
修了に必要な単位数	21単位 (児童英語科目より21単位)	21単位 (初等教職科目より7単位+児童英語科目より14単位)
目標とする英語運用力	指導者としての基本的英語運用力	
小学校での指導体験時間	20時間程度	
対応するJ-SHINE 資格	準資格	

2 実践コース

オプション	児童英語オプション	小学校英語オプション
修了に必要な単位数	27単位 (基礎コース21単位+6単位)	27単位 (基礎コース21単位+6単位)
目標とする英語運用力	英語で教えることができる運用力	
小学校での指導体験時間	50時間以上	
対応するJ-SHINE 資格	正資格	

プログラムの修了とJ-SHINEについて

修了者には白百合女子大学児童英語指導者養成課程修了証書(基礎コース修了証書、実践コース修了証書)を発行します。また希望者は小学校英語認定協議会(J-SHINE)の資格認定を申請することができます。(有料6,000円)

基礎コース修了者

▶ J-SHINE 小学校英語準認定指導者資格

実践コース修了者

▶ J-SHINE 小学校英語指導者正資格

J-SHINEとは

「小学校英語指導者認定協議会」の略称で、日本における「小学校での英語教育の普及・発展を支援する」という趣旨のもと2003年に民間主導で設立された特定非営利活動法人(NPO法人)です。英語教育指導者の人材育成・資格認定を行っています。白百合女子大学はJ-SHINEの登録団体となっているため、児童英語プログラム修了者はJ-SHINEの資格認定を申請することができます。

J-SHINE ホームページ → <http://www.j-shine.org>

児童英語オプション

主に英語英文学科学生 対象

【児童英語オプション履修モデル】

	1年次	2年次	3年次	4年次
児童英語の講義	児童英語入門 子どもに教えるための英語Ⅰ		児童英語教育法 児童英語教材研究 子どもに教えるための英語Ⅱ	
実習講座	児童英語観察学習		児童英語指導法ワークショップⅠ or Ⅱ 児童英語アシスタント実習Ⅰ or Ⅱ	
言語理論と教育法		英語教育の理論と実践Ⅰ 英語教育の理論と実践Ⅱ 言語習得論Ⅰ or 言語習得論Ⅱ 言語音声学Ⅰ or 言語音声学Ⅱ		

■ 基礎3科目 ■ 基礎コース必修 ■ 実践コース科目

小学校英語オプション

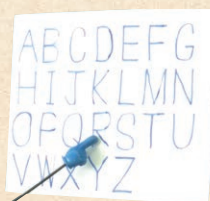
小学校教諭免許取得予定者 対象

【小学校英語オプション履修モデル】

	1年次	2年次	3年次	4年次
児童英語の講義		初等外国語(英語)科指導法 小学校外国語(英語)	子どもに教えるための英語Ⅱ 児童英語教材研究 児童英語教育法	
実習講座		教育体験ⅡA or ⅡB	児童英語指導法ワークショップⅠ or Ⅱ 児童英語アシスタント実習Ⅰ or Ⅱ	
言語理論と教育法	教育心理学		英語教育の理論と実践Ⅱ 言語習得論Ⅰ or 言語習得論Ⅱ 言語音声学Ⅰ or 言語音声学Ⅱ	

■ 基礎3科目 ■ 基礎コース必修 ■ 実践コース科目

Q & A



Q プログラムを取るための手続きはどのようなものですか。

A 新年度のガイダンスで説明会があります。そこでプログラム履修の登録手続きをします。

Q 履修科目が多く4年間で修了することができますか。

A プログラム科目のほとんどは、英語英文学科の卒業要件に含まれていて、卒業単位の他に20数単位を取得しなければならないということではありません。また、すべて半期科目ですからスムーズに単位取得ができれば2年間で実践コースまで修了することも可能です。

Q ホスピタリティやGBPと両立できますか。

A 可能です。ただし、同じ時間に授業が重なっていることもあるので、4年次までを見据えて、計画的に履修する必要があります。

Q プログラムを取るとどのようなメリットがありますか。

A 修了者は白百合女子大学児童英語指導者養成課程の修了証書を取得すると同時に、希望者は小学校英語指導者認定協議会 (J-SHINE) の資格認定を申請できます。(有料)

Q 英語英文学科以外の人はプログラム科目を履修できますか。

A できます。このプログラムに関する科目は英語英文学科に置かれていますが、全学に開放されており、どの学科の学生でも履修できます。ただし、人数制限があるので、児童英語プログラム登録者優先になります。

Q 初等教育課程や中等教職課程と一緒にとることはできますか。

A 中等教職課程履修者は、教職科目で置き換え可能な科目があります。また、小学校教員免許取得予定者は、小学校英語オプションが開設されたので、初等教職課程と平行履修ができます。

Q プログラムにかかる費用はありますか。

A 授業にはありません。実習に行く場合、交通費は自己負担です。また J-SHINE の申請には 6,000 円かかります。

担当者・履修者からのメッセージ



宮本 弦 先生



このプログラムでは、楽しい英語活動のレポーターを身につけ、実際に子どもたちを相手に実践してみます。このような体験を通して、なぜ、ある活動をレッスンの中で行うのか？その活動は子どもたちの発達段階に合った活動と呼ぶことができるのだろうか？といったことを考えられる人、つまり「子どもに優しい英語教育」の実践者になってほしいと願っています。

齋藤 涼子 先生



子どもたちと楽しい教材を使って英語活動をする、たくさんの笑顔に出会います。子どもの吸収力・表現力はすばらしく活動のしがいがあります。また思いがけない反応や発想に驚いたり、感心したり、教えていながらこちらが学ぶこともいっぱいです。理論も実践も充実しているこのプログラムはとてもやりがいのあるものです。一緒に勉強しませんか。

英語英文学科 (卒業生)

三宅 桜 さん



児童英語プログラムでは、子供に英語を教えるための資格取得に向けて、取り組んでいます。小学校英語活動の授業構成を知り、授業見学や実習を経て、子供達が楽しく英語を学べるような教授法や声掛けのしかたがわかりました。子供達にわかり易く伝えることは難しかったですが、英語を理解してくれた時は嬉しかったです。

児童文化学科 発達心理学専攻

柳澤 芽衣 さん



私は、現在3年生で初等教育課程をとっています。2020年より小学校英語が教科となるので、もっと教える技術を学びたいと思い、児童英語指導者養成プログラムを履修しています。実際に英語を使って子ども達の前で授業をするのは不安がありましたが、それは回を重ねるごとに自分の自信が変わっていきました。今は、英語が教科となることがとても楽しみで、「もっと子どもたちに英語を教えたい！」という気持ちが芽生えています。このプログラムを履修してよかったと思います。この実践力を武器にしてこれから小学校教諭を目指して、常に学んでいきたいです。



児童英語指導者養成プログラム

白百合女子大学英語英文学科研究室
〒182-8525 東京都調布市緑ヶ丘1-25
TEL: 03-3326-5274
FAX: 03-3326-5467